

怒濤

第7号
2頁 20円

発行所
東京都港区新橋三丁目
電話 97233336
郵便番号 147112
印刷所 日本印刷
20頁160円(送料)

●世界革命の旗の下、万國の労働者団結せよ
●民族防衛主義、議会主義を打破し、安條条約破壊、サンフランシスコ条約第三條破壞、米軍基地撤去を闘いとせよ
●労働者共産主義委員会

はじめに

この雑誌は、戦後日本の学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的として創刊された。戦後、日本の学生運動は、戦前とは異なる性格と任務を帯び、社会主義的・共産主義的傾向を強めてきた。この雑誌は、その傾向を理論的に整理し、実践的に指導することを目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。

1 学生運動の基本的性格と任務

学生運動の基本的性格は、戦後日本の社会状況に由来する。戦後、日本の社会は、戦前とは異なる性格を帯び、社会主義的・共産主義的傾向を強めてきた。この雑誌は、その傾向を理論的に整理し、実践的に指導することを目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。

2 当面する学生運動の任務

当面する学生運動の任務は、戦後日本の社会状況に由来する。戦後、日本の社会は、戦前とは異なる性格を帯び、社会主義的・共産主義的傾向を強めてきた。この雑誌は、その傾向を理論的に整理し、実践的に指導することを目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。

当面する学生運動の任務と闘争方針

共産主義学生戦線結成連絡会議

当面する学生運動の任務は、戦後日本の社会状況に由来する。戦後、日本の社会は、戦前とは異なる性格を帯び、社会主義的・共産主義的傾向を強めてきた。この雑誌は、その傾向を理論的に整理し、実践的に指導することを目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。本誌の編集方針は、学生運動の発展と、その理論的基盤の確立を目的とする。

（以下は、本誌の編集方針や、学生運動の発展に関する詳細な議論が展開されている。内容は、戦後日本の学生運動の現状と、その理論的基盤の確立に関するものである。）

反合同争を中心とする国鉄労働者の任務

五万人合理化・財政再建案を

ストライキ闘争で粉碎せよ!

労働共闘・国鉄労働者委員会

現段階における

合理化攻撃の性格

国鉄労働者の任務は、五万人合理化・財政再建案をストライキ闘争で粉碎することである。この闘争は、単なる労働条件の改善を求めたものではなく、国鉄の経営方針そのものを攻撃するものである。合理化攻撃の性格は、以下のように特徴づけられる。

一、徹底的な攻撃。合理化攻撃は、単なる労働条件の改善を求めたものではなく、国鉄の経営方針そのものを攻撃するものである。合理化攻撃の性格は、以下のように特徴づけられる。

二、反合同争における

民同路線の内実

民同路線の内実とは、労働者と国民の間に横たわっている壁を取り除き、労働者の利益と国民の利益を一致させることである。民同路線の内実を明らかにする。

三、先進的労働者の任務

先進的労働者の任務は、労働者の団結を促進し、合理化攻撃を徹底的に攻撃することである。先進的労働者の任務を明らかにする。

基本要先行

解決路線の

解決路線の基本要先行とは、労働者の団結を促進し、合理化攻撃を徹底的に攻撃することである。解決路線の基本要先行を明らかにする。

労働上

反対闘争

労働上の反対闘争とは、労働者の団結を促進し、合理化攻撃を徹底的に攻撃することである。労働上の反対闘争を明らかにする。

公共性

労働の本質

労働の本質の公共性とは、労働者の団結を促進し、合理化攻撃を徹底的に攻撃することである。労働の本質の公共性を明らかにする。

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

社・共の安保=沖縄

闘争方針批判

一 民族防衛主義・議会主義打破のために

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性

（一）安休体制論における曲解

（二）安全保護政策「議論」の夜暗性

（三）議会主義の労働者の反動性